

第12音楽隊演奏会で自衛隊をPR



新潟地本（本部長 1陸佐 大倉正義）は、9月14日（土）南魚沼市自衛隊協力会が主催する「陸上自衛隊第12音楽隊コンサート」及び9月15日（日）魚沼市自衛隊協力会及び魚沼市が主催する「陸上自衛隊第12音楽隊メモリアルコンサート」を支援しました。会場となった南魚沼市民会館及び魚沼市小出郷文化会館には2日間で約2400名の大勢の聴衆者が来場し満員となりました。

コンサートはいずれも2部で構成されており、1部では、「日本の歌メドレー」などから始まり「ラコッツィー行進曲」等のアップテンポな曲をまぜるなどし、聞き手を魅了させる音色と構成で1部は終了しました。

2部は1部とは打って変わり、感動を呼ぶ魅惑的な曲で構成されていた「アイ・ガット・リズム」「ハリージェームスに捧ぐ」では、真尾3陸曹と内藤3陸曹がクラリネットとトランペットでそれぞれ力強いソロでの演奏を行い聴衆者からは大きな拍手が起きました。



また、2部の最後には、今年実写化され話題となった映画「アラジン」のメドレーが演奏され、ステージには隊員が扮するキャラクターが登場し、ジーニーのコミカルなダンス、アリ王子のキレのある踊りが披露され、会場は大いに盛り上がりました。



その後、アリ王子とジャスミンによる「ホール・ニュー・ワールド」が演奏されると、会場はため息が出るような美しい音色に静まり返り観衆を魅了しました。そして演奏が終了すると、まるで魔法が解けたかのように大きな歓声と拍手が巻き起こっていました。

アンコールの「聖者の行進」では音楽隊と聴衆者が一体となった盛り上がりを見せ、陸上自衛隊第12音楽隊の魅力を存分に伝え拍手喝采の中、全てのプログラムを終了しました。

新潟地本は会場入口付近にブースを設置して、自衛隊音楽祭りのDVDを放映し、パンフレット等を配布するとともに、コンサートの休憩中には長岡所長より、自衛隊の魅力、自衛隊の任務等を説明を行い自衛隊を積極的にPRしました。



新潟地本は、これからも市民に喜んでもらえる演奏会を計画し、音楽を通じて自衛隊の魅力を発信していきます。